

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2024年(令和6年)

10月18日

金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

あけぼの大豆 魅了され定住

神奈川から
身延町に

浅野さん 協力隊員経て



①浅野さん、②しっとり焼き大豆



【山梨】県南部に位置する身延町。同町で栽培される大粒の「あけぼの大豆」に魅了された浅野秀人さん(54)は、地域おこし協力隊の任期満了後もあけぼの大豆の普及に奮闘している。

浅野さんが協力隊員として横浜から移住したのは2019年10月。好きなことにチャレンジできる環境があり、自分の思い描く農業人生が送れそうだと感じたのがきっかけだ。移住後の半年間に地域の人々から親身にな

って接してもらい、同町の魅力に引き込まれていったという。

現在は、あけぼの大豆の加工・販売・普及の中心拠点「あけぼの大豆拠点施設」の専務として活動し、自身でも畑を借りて栽培している。

同施設では浅野さんが開発に携わった「しっとり焼き大豆」を新たに発売。大豆の香りが強く、甘みを感じるのが特徴で人気を博している。

浅野さんは「農業には人と人をつなぎ、人を育てる力がある。これからも農業を通して多くの人と関わっていききたい」と語る。